



東埼玉テクノポリス

東埼玉テクノポリス協同組合 広報

発行責任者 和佐見 勝

編集責任者 國光 武司

Now

09年 3月号

BCP策定指導講座 成果ある修了



昨年五月、第六回通常総会に於いて特別講演「事業継続計画BCP策定」(講師NPO法人シビルサポートネットワーク代表理事辻田満氏)に啓発され、七社の企業から指導講座参加の申込がありました。

そこで講演頂いた辻田氏を講師として、六月三〇日を第一回目の講座とし、本年二月二十三日の最終講座まで、三部にまたがるカリ

【写真】熱心に受講されている厚川産業の社長ほか首脳スタッフの方々。

キヨラムが生まれ各々の講義についてのドキュメント提出という宿題も課せられた、それらについての個別指導をおこなうという徹底した実のある指導講座が進められました。

【内容は左欄の表通り】
またこの間、昨年

の一〇月には中越沖地震の際、報道各社にとり上げられ話題になった柳リケンの柏崎工場の見学が、東京日野自動車(株)西川取締役のご幹旋で実現が出来、BCPに対する取組み方等をじかに体験することが出来たことも、この指導講座に加えられる大きな成果であった

と思います。

【次頁に続く】

事業継続計画(BCP)作成指導講座 スケジュールとカリキュラム

実施日程と内容

| 日 程 | 内 容 |
|-----------------------------|---|
| (1) 6月30日(月) 10時~12時 | カリキュラムガイダンス(実施内容、スケジュール) 第1部「BCPの基礎になる 防災対策の実施」講義 |
| (2) 7月31日(木) | 各社第1部ドキュメント提出日 |
| (3) 8月22日~29日 | 第1部個別指導 |
| (4) 9月12日(金) 10時~12時 | 第1部実施結果講評 第2部「重要業務を認識して 簡略なBCPを策定する」講義 |
| (5) 10月20日(月) | 各社第2部ドキュメント提出日 |
| (6) 11月14日~21日 | 第2部個別指導 |
| (7) 11月28日(金) 10時~12時 | 第2部実施結果講評 第3部「本格的な事業継続計画 (BCP)に向けて」講義 |
| (8) 1月16日(金) | 各社第3部ドキュメント提出日 |
| (9) 2月16日~23日 | 第3部個別指導 |
| (10) 3月13日(金) 13時20分~15時 | 各社BCPの発表および総括 |

受講企業七社の発表会を行ないます。是非お出でください。
三月十三日(金)午後一時三〇分
旭地区センター二階研修室

今月のクリンデー 3月16日(月)



不測の事態に備える事業継続 BCP Business Continuty Plan

B C P 作成指導講座
受講企業の感想

■ 株式会社丸和運輸機関

総務部長 甚野吉和
昨年六月三〇日から約一年間、事業継続計画（BCP）作成講座に参加し、リスクマネージメントの大切さを学んだ中で感じたことは、いつたいたいだけの企業が、災害（地震等）が発生し被害を受けた場合のことを想定した対応を考え、取引先等への迷惑を最小限に抑える準備をしているか、ということでした。最悪の場合には企業として存続できなくなる恐れもあります。いざというときに備えて、本講座を受講され、BCPの準備をされることをお勧め致します。

■ 第一三共ロジステイクス㈱

東京物流センター
センター長 鈴木幸喜
六月末日にスタート致し、あっという間の八ヶ月でした。

ドキュメント提出と個別の指導と一部～三部の講義を受講して、日々が経過することに課題が明確

になり、弊社センターに於いて、現状何が欠けているかが分ったことが大きな収穫でした。

具体的な代替拠点からの物流シミュレーションも作し、今後はBCP施策対応のスケジュールに沿って課題解決をしていきたいと思っております。

- ・ 教育訓練の継続実施（防災訓練、BCP教育）
- ・ 相互扶助の仕組み構築
- ・ BCPの定期的な見直し

今回のBCP（事業継続計画）に参加させて頂きまして大変勉強になりました。有難うございました。

■ トーゼン産業㈱

管理本部 次長 岩崎 貢
緊急事態の発生から早期復旧を

果たすために必要な重要要素を把握し、その改善策を検討する中で、サプライチェーンの再構築や、事業計画策定時に於いても、改めて企業の使命である社会貢献をBCPの概念から考え直すべきであるという気付きの機会を与えていただきました。



■ 厚川産業㈱

代表取締役 厚川秀樹
大変、たつたけれど、BCP作成に取組んで良かったというのが率直な感想です。

自然災害への対応策や復旧作業の手順を整理し、社内の取決めとして定めておくことが、当社のよきな代理、代役がない「小さな

会社だからこそ大切なことだ」と感じております。

■ 株式会社オーム電機
総務課長 青山通彦
最初は何も分からず、今はようやく大まかに理解できるようになりました。今までのない切口で自社を分析することが出来たことなど、新たな視点からこれからの課題を検討していきたいと考えておりますので、これからもご指導お願いいたします。有難うございました。

■ 東包印刷㈱
品質管理部次長 高橋昌男
BCPを取組むことにより、自社を取り巻く様々なリスクに対して、多角的な面から検討する機会を得ることができました。リス

クの想定、常用業務とは何か？、許容中断時間の把握と目標復旧時間の設定など、従来の災害とは違った面からのアプローチにて、改めて自社に於けるボトルネックを見直すことが出来ました。受講した私たちの災害に対する意識も変わり、非常に有意義な講座でした。

■ 株式会社マルシン

相談役 黒川章夫

弊社は危険物を大量に扱う塗装業の為災害対策及び被災した場合の企業の存続について、それなりの対策は実施してきましたが、更に充実させたいとの考えから社長以下幹部三人が受講しました。

従来は部分的な対策、消火活動に偏重した対策であったが、系統的に整理され効率の良いBCP策定のスタート台に立てたと感謝しています。

BCP 受講企業（七社）

受講修了発表会 聴講歓迎

三月十三日（金） 午後一時三十分～三時

旭地区センター二階研修室

不測の事態に備える事業継続 BCP Business Continuty Plan

BCP策定推進の
提唱者として

國光武司

BCPという言葉との出会い
今からしてみると一昨年の十二月、埼玉県中小企業振興公社の吉野さんとの雑談の中で、「BCP」という言葉を知っていますか」と聞かれ「いや、初耳です。一体何のことですか」と返したのが始まりで、彼から後日一冊の冊子が送られてきました。それは振興公社が発行している月刊誌で、何ページかに亘ってBCPのことが書かれてありました。

表題は「いま、大規模地震が突然発生したら、あなたは、あなたの会社を守れますか？」でした。目を通していくにつれ、そうだがこのことを組合企業の皆さんに知らせなくては、と思ひ立ち、早速年が明けて一月広報のページをつかつて、BCPのさわりを紹介しました。

広報が橋渡し

BCP講座を聞く機会を得る

辻田満氏との出会い

そして、二月のとある日、一通

の手紙が来ました。それは、NPシビルサポートネットワーク代表理事辻田満という方から書状で二月十七日(日)に吉川市のオアシスにて、京都大学の教授を招いてBCPの講演を行なうので、是非お越しくださいという内容のものが書かれてありました。

どういふ経緯があつて私の所へこの案内が届いたのか不審に思い、差出人辻田氏に電話をしてみたところ、吉川市商工課からテクノポリスの広報を渡され、その中にBCPに関心のある記事が書かれていた私にご案内した、という返事が返ってきました。

当日会場へ出向き、講師の丸谷教授のBCPの講演を聞きするにつれ、これは是非ともテクノポリスに於いて導入実施すべきと考え、講演後教授の元に伺い、是非当テクノポリスにお越し頂き講演を頂けないか、という旨のことをお願いしました。しかし教授は本業である京大経済研究所教授のかた

わら、NPO法人事業継続推進機構(いわゆるBCP)理事長として全国行脚もされて、個々のご要望には応えられないとのご返事。そこで前述の辻田さんをご紹介頂き、この方で十分その任に当たられることを保証します、とのことのお口添えも頂きました。

BCP策定事業が

人材確保推進事業として

認可される

こうしたことがあつた少し前、丁度来年度(二〇年度)の人材確保推進事業の助成金を頂くための計画事業を提出すべき時期であつたので、管轄の雇用・能力開発機構にこのBCP策定事業を助成金対象事業に認可頂きたい旨を申し出たところ、言下にそのような事例はないから、と断られました。しかし事業が災害のため継続が出来なくなる、或いは復旧に時間が掛かり過ぎてしまったために顧客が離れていってしまう従業員が雇用継続も出来なくなり企業が倒産する事態を招いては、この雇用・能力機構が目指すところと相反するのではないかと、執拗にお願ひし、後日ご検討を頂いた結果、助成金対象事業として認可を頂いた経緯

もあり、二〇年度組合事業として総会の認可も得ました。

来年度(二一年度)における

BCP講座受講企業への期待

六月三〇日を第一回目の講座がスタートし、本年二月二十三日まで、一ページに掲げましたスケジ

ユールとカリキュラムを、NPOシビルサポートネットワーク代表理事辻田満氏が見事にこなされ、前頁に記載されたとおり参加各社からの感謝のコメントが寄せられ成果ある修了となりました。

講師辻田満氏は、さすが京大教授のお墨付きのご推薦のとおり、前歴が大手ゼネコンの技術研究所のリーダーも勤められただけあつて、専門的にもまた人格的にも素晴らしい適任者でありました。



願わくは、来年度(二一一年)もまた本年の七社を超える数のBCP策定に取組む企業が出てくることを切に期待して止みません。

東京商工会議所主催

・BCP策定事例発表会と

・パネルディスカッションに

株オーム電機が登壇されます。

二月二十五日(水)・場所未定

同社は東埼玉テクノポリス(協)主催

二〇年度BCP策定指導講座受講企業です。